



『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子

○じょうぶな子

【経営の重点】

「なりたい」を支える学校

～成長・感謝・希望～

令和7年11月28日発行 第9号

感謝～公開実践発表会・閉校記念式典～

5日(水)に行われた岩内町公開実践発表会には、町内外から多くの方々にお越しいただきました。午前中は、東小学校で、開会式、全体説明のあと、全学級での授業公開でした。午後からは会場を第二中学校に移し、まちづくり科の特設授業、講演、ワークショップ、閉会式がありました。

本校での全学級公開では、これまで校内研究で取り組んできた4つの視点(①子どもの学習意欲を引き出す課題提示 ②子どもが学びを自己調整 ③他者参照をして、学びを深める④学びをふり返る時間の確保)に基づいた授業をご覧いただきました。「子どもが主語の授業」となるよう研修部を中心に授業改善を進めてまいりました。町内外の多くの方にご覧いただけた機会を得ましたこと、そして今後の授業改善に向けたご示唆をいただけましたこと、誠にありがとうございました。本校での学びモデルが、来年度開校する岩内中央学園の礎となるよう、残り4ヶ月も一層の改善を図ってまいります。

22日(土)、町内4小中学校の閉校式典を挙行いたしました。本校は昨年度150周年を迎えたこともあり、150周年記念式典の意味もこの式典に込めしていました。卒業生である第一中学校の皆さんと一緒に150年の歩みを感じられればと合同での開催となりました。以下校長挨拶(抜粋)

東小学校が開校した150年前、日本は未曾有の大混乱の真っ只中にありました。長く続いた泰平の眼から目覚め、幕末・維新と日本の政体は大きく変革しました。北海道は大きな可能性を秘めた大地として、多くの人々が訪れました。ある人は夢や思いを馳せ、ある人は苦しい生活を抱え、またある人は古来この大地を愛し暮らしていました。多くの人々が力を合わせ、この大地に根をおろし、子どもたちに未来を託してきました。

明治7年開校以来、本町教育の中心を担ってきた本校は、その先人の意志と労苦と情熱に応え、岩内を支え、北海道を動かし、日本・世界を舞台に活躍する人材を、長きにわたり輩出し続けてまいりました。

「町づくりは人づくり」諸先輩方の教育への情熱と研鑽を重ねた150年の重みを引き継ぎ、本校は学校教育目標「明るく伸びる子」を目指す教育を推進してまいりました。そして、その思いは途絶えることなく連綿と繋がり、来年度から開校する義務教育学校「岩内中央学園」へ受け継がれます。

東小学校の児童の皆さん、第一中学校の生徒の皆さん。新しい学校は、4月から始まります。校舎は岩内町が、多くの方々の協力のもと立ててくれました。しかし、学校は中身が大事。中身は皆さん一人一人が作っていくのです。誰かがやってくれると待つではありません。自分たちで、「こうしていきたい」という願いをかたちにしていくのです。

3月までは東小学校での時間を大切にしてください。そして4月からは、新しい学校を自分たちの手で創り上げてください。そして、自分も、周りの友だちも、お家の人も、地域の人も幸せにする人になってください。

児童会長の三宅さんが、「式典での児童代表の挨拶に東小学校のクイズを入れてもいいですか?」と尋ねてきました。思いを聞くと、第一中学校の先輩たちにも東小学校のことを思い出してほしいとのことでした。これまで150周年イベントで得た経験を生かし、150周年と閉校への思いを先輩たちにも感じてほしいという願いを、クイズという柔軟なアイデアで実現しようとしたのでした。私も校長挨拶がありましたが、そこまでの発想はありませんでした。三宅さんの、目的に真っ直ぐ向かう姿勢、先輩への思い、会場を巻き込むアイデア、何より自分事として式典の意味を捉えて動き出した主体性に感嘆しました。もちろん返事はOK。当日はクイズを通して、会場全体が、心の中にある東小学校の景色を思い浮かべました。「東小学校での思い出は、いつまでも私たちの心にあります」児童代表挨拶の結びの言葉は、三宅さんの成長した姿とともに、私の心にあり続けることでしょう。

これまで151年の長きにわたり、地域・保護者の方々、岩内町教育委員会、PTA・同窓会そして各関係者の方々の絶大なるご指導、ご支援、ご協力のもと日々と発展、充実を続け、今日に至ります。誠にありがとうございます。残り4ヶ月ですが、最後の一日前まで、子どもたちの力を育む教育活動を進めてまいります。

英検ESGテストを実施しました

全国の小学6年生が「英検 ESG」にチャレンジしています。本校でも11日（火）に実施しました。英検 ESG は、小学校での外国語科での学習を通して「英語を使ってできること」を積み重ね、児童がその成果を実感できるように開発されたテストです。

テストでは、問題文を2回聞き取り、マークシートに解答を記入します。初めての形式に少し緊張した様子も見られましたが、児童は集中して耳を傾け、最後まで意欲的に取り組んでいました。

今回の結果を踏まえ、今後の授業改善に生かしてまいります。



2年生人権教室を行いました

12日（水）、人権擁護委員の方を講師に迎え、2年生で人権教室を行いました。「人権」という言葉は、2年生にとって少し難しい言葉ですが、講師の先生から「人権とは、みなさんが毎日安心して楽しく暮らすことです」と、分かりやすく教えていただきました。

授業では、友だちの良いところとして「何でも話せる」「一緒に遊べる」「話していると楽しい」「困った時に助けてくれる」の4つを挙げ、それらを大切な順に理由を考えて並べる話し合いをしました。

話し合いの中では、「全部大事だから選べない」「助けてくれるのが一番うれしい」といった声もありました。意見がまとまらない場面もありましたが、友だちと互いの思いを聞いて意見を調整することの大切さを学ぶことができました。



西小との交流学習

来年度開校する岩内中央学園に向けて、東小と西小の子どもたちの仲を深められるよう交流を進めています。5年生が12日（水）にオンラインで交流学習を行いました。学習内容は、国語「漢字の成り立ち」です。

事前に考えた漢字クイズを互いに出し合いました。正解すると拍手をし合って喜ぶ姿が見られました。最後にはタブレットを活用して感想を入力し、互いの良さを認め合い、心温まる時間になりました。

赤い羽根募金への協力ありがとうございました

11日（火）から17日（月）の期間、児童会の代表委員を中心に「赤い羽根共同募金」の活動を行いました。赤い羽根共同募金は、災害や社会福祉など、困っている人たちを支援するための募金活動です。

代表委員の子どもたちは児童玄関に立ち、登校してきた友だちに「おはようございます」と声をかけ、募金してくれた友だちに「ありがとうございました」と感謝の言葉を伝えながら、赤い羽根を手渡していました。

今後も様々な活動などを通して、思いやりの心を育んでいきたいと思います。募金へのご協力、誠にありがとうございました。



合同合唱練習

10日（月）、岩内第一中学校の生徒の皆さんのが、22日に開催された閉校式典で歌う「アンリミテッド」の合同合唱練習のため、本校の体育館に来てくれました。

小中学校の児童生徒が初めて一緒に歌った合唱は素晴らしい、小学校だけ、中学校だけでは生まれ出せない音となりました。小学生の元気あふれる大きな音量と迫力を、中学生の二部合唱がしっかりと音程を支えてくれました。

中学生の落ち着いた態度や中学生の的確なアドバイス、そして、小学生のひたむきな姿勢など、互いの良さに刺激され合った1時間となりました。4月から開校する岩内中央学園への期待が高まる充実した時間になりました。



体調の管理をお願いします

今日はインフルエンザの流行により、学級閉鎖や学校閉鎖がありました。12月には、屋外と教室、廊下などとの寒暖差が一段と大きくなり、体調管理が難しい季節となってきます。この時期は風邪やインフルエンザが特に流行しやすいため、ご家庭でも引き続き、手洗いやうがいの習慣づけ、季節に合った服装の準備など、健康管理へのご協力をお願いいたします。

冬休みまでの残り1か月を、子どもたちが安心して元気に登校できるよう、教室の換気、手洗い・うがいの励行など、感染防止に向けた取組を続けてまいります。

